



わんごがっぱ
ニュース

岩手県学童保育連絡協議会
〒020-0122
盛岡市みたけ3-38-20
岩手県青少年会館内
Tel・Fax 019-681-0651

指導員学校・合宿研

つなげる つながる大切に 運営指針を学ぶ

岩手県学童保育連絡協議会主催の第四回指導員学校・第二回合宿研修会は八月二七、二八の両日、花巻市の渡温泉「さつき」で開かれ、県内の各学童から父母、指導員ら二三八人が参加しました。

一日目の全体会では、全国学童保育連絡協議会副会長・東京都文京区指導員の高橋誠氏が『放課後児童クラブ運営指針』を現場から読み解く」と題して講演を行いました。放課後児童クラブ運営指針とは、児童福祉法の改正に伴い、厚生労働省が学童クラブの運営主

体及び実践者（指導員）向けに定めた指針。文面を読むだけでは分からない背景や具体的に現場は何をすればよいのかについて、自身の実践を交えながら解説しました。運営指針は学童に課せられたものではなく、学童を支えるもの。子どもを支え、保護者を支え、そして指導員も支える。運営指針を支えるに、つながる、つなげることを大切にしていこうと呼びかけました。

午後からは、六つのテーマで分科会が開催され、参加者はそれぞれ関心のあるテーマについて理解

学童保育研究集会

多数の参加を

二〇一六年度の岩手県学童保育研究集会は、十一月二〇日（日）に盛岡市の岩手大学工学部を

を深めました。

二日目は盛岡大学准教授の石川悟司氏が、「育てたい親 育ちたい子ども」と題して、東京三多摩学童保育連絡協議会会長の妹尾浩也氏が『日本の学童ほいくの魅力』と題してそれぞれ講演を行いました。

今年の合宿研は、全体の参加者は増えましたが、宿泊者が減りました。合宿研はそのタイトルどおり、研修だけでなく、県内の学童関係者が「合宿」し交流を深めることも大切に行っています。知らない人同士が学童を通じて共感し、新しいつながりが生まれる貴重な場です。来年は指導員学校が四五回、合宿研は三〇回の節目の年です。多くの方に宿泊していただき、親睦を深められたらと願っています。

会場に開催されます。

全国学童保育連絡協議会副会長で埼玉県指導員の河野伸江氏の講演のほ

実施状況調査まとまる

全国連協が今年五月現在で市町村を対象に行った、実施状況調査の結果が公表されました。学童の入所児童数は一〇七万六五七一人（前年比五万九四一二人増）。学童の運営主体は公立公営が減

か、七つのテーマで分科会を予定しています。申込みは十一月八日（火）まで。皆さんお誘い合わせの上、ご参加ください。県連未加盟の学童も参加できます。申込みお問い合わせは県連事務局まで。

ななごの新聞

なごまつ

今年度、県連協では沿岸の被災学童へのきめ細やかな支援や県連未加盟の学童に県連協の活動を知っていただくため、学童訪問を行っています。釜台いく子さん（元滝沢市指導員）が、みなさんの学童におじゃまします。保育のこと、運営のこと。疑問や困りごと、まずは何でもお話ししてください。そのなかで県連協としてお手伝いできそうなことがあれば、一緒に考えていきます。よろしくお願ひします。

つなげる力 連協紹介

盛岡市連協◇

盛岡市連協には、盛岡市内の一九クラブが加盟しています。主な活動は盛岡市への要望書の提出のほか、学童まつり、ゲーム大会など子どもたちが楽しめる行事も開催しています。とくに、ゲーム大会はオセロ、百人一

首、チェス、将棋の四種目で対戦しますが歓喜あり、くやし涙ありで子どもたちの真剣勝負に毎年ドラマがあります。

また、指導員部会では指導員の勉強会や交流、情報交換が活発に行われ、盛岡市の学童全体を底支えする力になっています。盛岡市は児童の放課後の施策として児童センターに力を入れており、県内の他市町村に比べると学童はかなり遅れてい

ます。多額の家賃負担を抱える学童も少なくありません。

今年度は市連協として市への要望活動のほか、議員懇談会や、盛岡市を講師に招き勉強会を行う予定です。現状は厳しいですが、盛岡市の学童が少しでも前に進むよう、みんなで力を合わせていければと思います。

（盛岡市連協 宮井）
次号は滝沢市連協を紹介します